

2022.9.20

西条市障がい者自立支援協議会
子ども部会研修

子どもたちの笑顔輝く 学びに向かって

西条市教育委員会 学校教育課
西部ウィングサポートセンター
青木 里美

☆今日のタイムテーブル☆

❁ 第1部

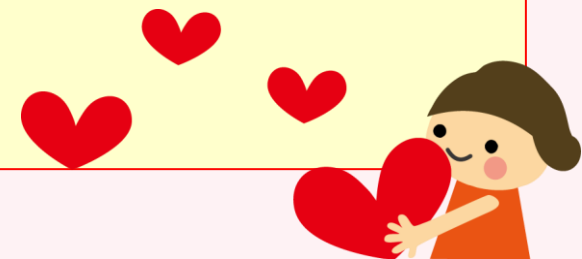
「小・中学校における、応援を必要とする
子どもたちへの体制について」

❁ 第2部

「就学相談について」

❁ 第3部

「就学相談や日々の相談で大切にしたい
こと」



子どもたちが抱える困り感

❁ 今までの積み重ね
叱られる・決めつけられる
いつも私、ぼくばかり・・・

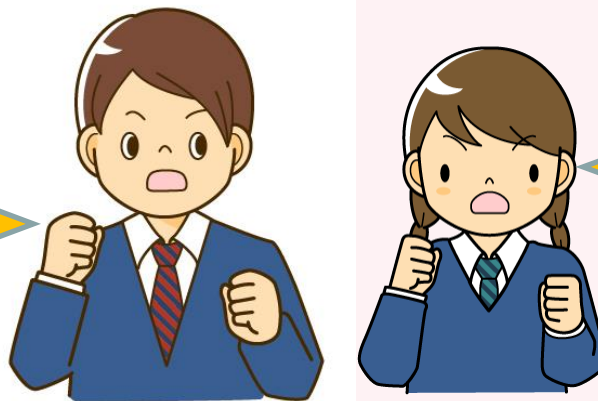
➡ 二次障がい

どうせ俺
が悪いん
だろ！

どうせでき
んもんバ
カだから

どうでもいい
面倒くさい

言ったっ
て無駄！



どうせ大人
は分かって
くれない！

本当は・・・

自分とは何かを教えてほしい

自分の困り感を分かってほしい

二次障がいを作らない！

もっと頑張りたい！

できることを増やしたい！

どうしたらうまくいくなだろう

悩みを解決してくれる人に会いたい



日常生活の中だと・・・

口頭で説明されるだけでは
分かりにくい

一度にたくさんの
指示があると忘れてしまう

計画的に物
事を進める
ことが苦手



聞きながら板
書をするのは
難しい

支援は甘やか
しではない！

支 援

なくては困ってしまう！
本人にとって必要なもの

適切な支援がないと自尊感情の低下
＝やる気のなさにつながる

- ❁ 「みんなと一緒に」にこだわらない！
- ❁ 本人にとってやりやすいやり方がある！
- ❁ それを選ぶことは恥ずかしいことではない！

将来社会に出て行くまでに・・・

自分がどうやったらうまくいくかを
知って、伝える力を育てたい！

うまくいくやり方を一緒に見つけて
サポートする！

見通しをもった支援

特性を理解した
一貫性のある支援の仕組みをつないでいく

学校卒業後の人生

次の支援者への引継ぎ

就学前通園施設・保育所
医師・専門機関との連携

保護者との連携・協力

継続した教育相談

個別の教育支援計画と個別の指導計画

文部科学省資料より

個別の教育支援計画

- ❁ 他機関との連携を図るための長期的な視点に立った計画
- ❁ 一人一人の障害のある子どもについて、乳幼児期から学校卒業後までの一貫した長期的な計画を学校が中心となって作成。作成に当たっては関係機関との連携が必要。また保護者の参画や意見等を聴くことなどが求められる。

個別の指導計画

- ❁ 指導を行うためのきめ細かい計画
- ❁ 幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応して、指導目標や指導内容・方法を盛り込んだ指導計画。例えば、単元や学期学年等ごとに作成され、それに基づいた指導が行われる。

個別の教育支援計画と個別の指導計画 (小・中学校)

【様式例】

- ❁ 愛媛県教育委員会特別支援教育課が新様式を掲載
※チェックリストから連動して支援計画・指導計画を作ることができる
- ❁ 県の様式でも、西条市が掲載したものでも、学校独自の物でも可（作成済みの物はもちろんそのままの様式で可）

【対象児童・生徒】

- ❁ 特別支援学校在籍児童・生徒
- ❁ 特別支援学級在籍児童・生徒
- ❁ 通級指導教室を利用している児童・生徒
- ❁ 通常の学級に在籍し、特別なニーズのある児童・生徒

【保存期間】

- ❁ 卒業・転学後5年間保管→5年経過したものは適切に破棄等の措置を行う
※「特別な支援を必要とする子どもへの理解と支援」（令和2年3月愛媛県教育委員会P.18～参照）

個別の教育支援計画と個別の指導計画

【作成にあたって】

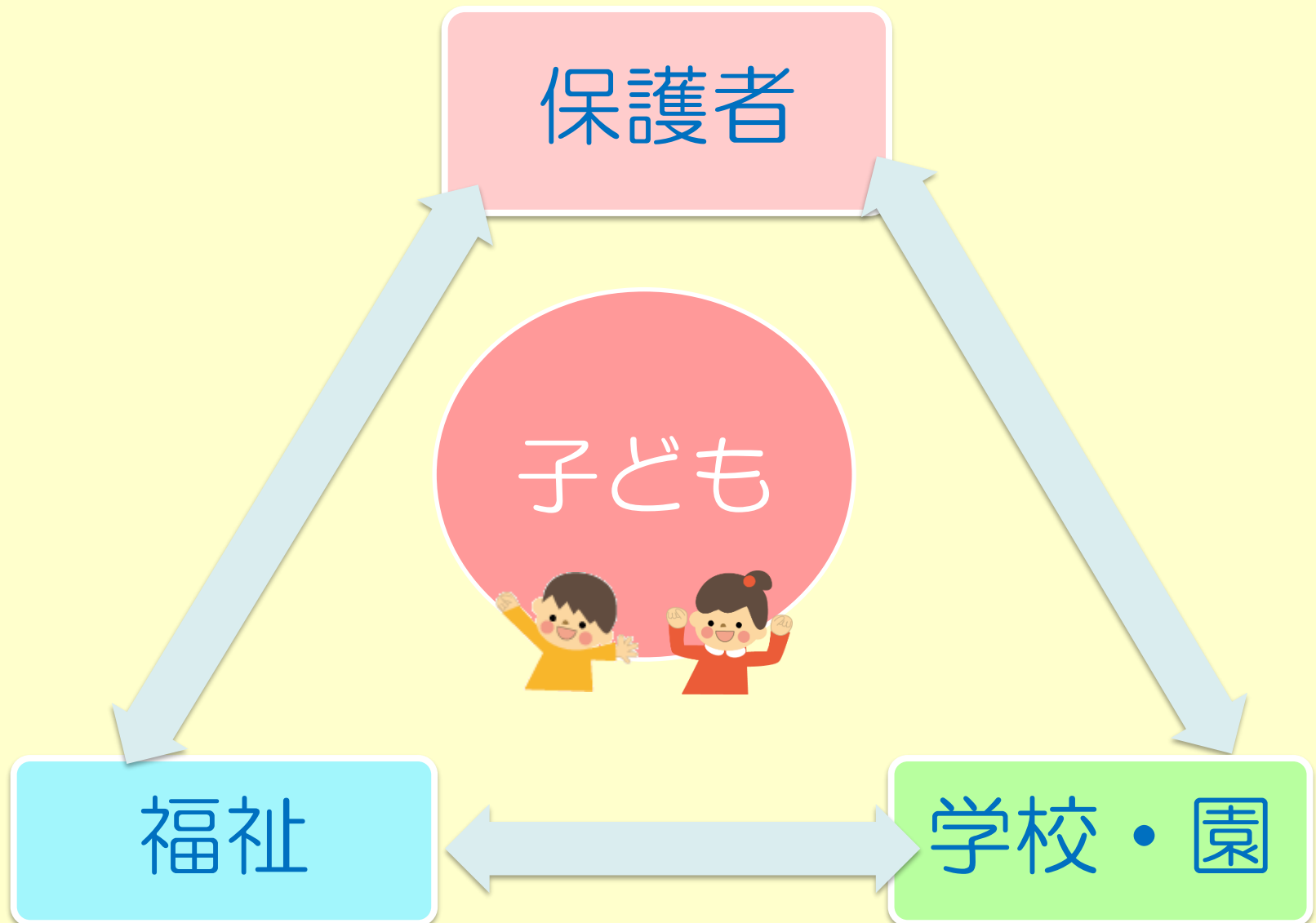
- ❁ 特別支援教育コーディネーターが中心となり話し合いながら学級担任が作成
- ❁ 特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室、通常の学級での学びなど、学びの場に応じた目標と支援方法等を記入し、共通了解を図る

【引継ぎ等】

本人の卒業や転学時の引継ぎ

- ❁ 保護者の同意を得て原本（保護者の押印があるもの）を引き継ぐ。引き継がない場合は保護者に原本を渡す。
- ❁ 保護者の意思で入学（転学）後、学校に引き継ぐことは可能。

子どもを中心に 学校園・福祉・保護者がしっかりとつながる



トライアングルプロジェクト

家庭・教育・福祉の連携「トライアングル」プロジェクト報告

～障害のある子と家族をもっと元気に～ 概要



1. 教育と福祉との連携に係る主な課題

学校と放課後等デイサービス事業所において、お互いの活動内容や課題、担当者の連絡先などが共有されていないため、円滑なコミュニケーションが図れておらず連携できていない。

2. 保護者支援に係る主な課題

乳幼児期、学齢期から社会参加に至るまでの各段階で、必要となる相談窓口が分散しており、保護者は、どこに、どのような相談機関があるのかが分かりにくく、必要な支援を十分に受けられない。

今後の
対応策

1. 教育と福祉との連携を推進するための方策

- ・教育委員会と福祉部局、学校と障害児通所支援事業所との関係構築の「場」の設置
- ・学校の教職員等への障害のある子供に係る福祉制度の周知
- ・学校と障害児通所支援事業所等との連携の強化
- ・個別の支援計画の活用促進

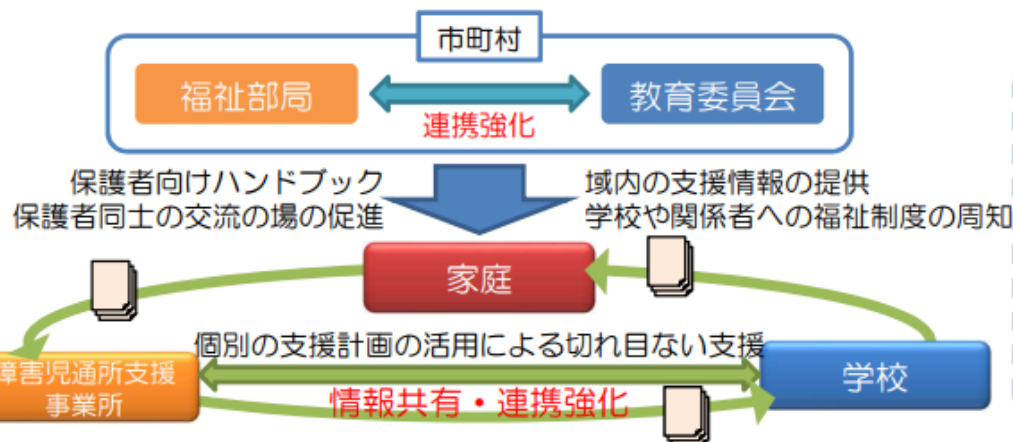
2. 保護者支援を推進するための方策

- ・保護者支援のための相談窓口の整理
- ・保護者支援のための情報提供の推進
- ・保護者同士の交流の場等の促進
- ・専門家による保護者への相談支援

【具体的な取組例】

(厚生労働省)
・放課後等デイサービスガイドラインの改定

・障害福祉サービス等報酬改定で拡充した連携加算を活用し、学校との連携を更に推進。



(文部科学省)
・個別の支援計画を活用し、切れ目ない支援体制を整備する自治体への支援

・保護者や関係機関と連携した計画の作成について省令に新たに規定

子どもを中心に 学校園・福祉・保護者がしっかりとつながる

保護者

- ❁ 本人の得意なところの情報交換
- ❁ 本人の課題にとどまらず、どう対応したらよかったかの支援方法の引き継ぎ・情報交換が大切
→目標の共有！
- ❁ 互いの個別の教育支援計画や個別の指導計画等で合理的配慮の確認・引き継ぎ・提案

福祉

学校・園

保護者の受け止め

なんとなく
思っていた
けど...

みんなと違
うことなん
かない！

家では全
然困ってい
ないのに

うちの子は
普通じゃな
いというの

何で、今ま
でそんなに
問題なかつ
たのに

どうしてう
ちの子だけ
？



当事者にとっては命に関わる相談という意識

前向きな就学相談に

この子が困らない方法があるのなら...

どんな応援を
してもらえる
か聞きたい

この子が笑って
楽しく学校に
行くことが
大事よね

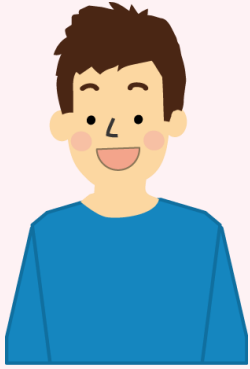
先生に本人
の特徴を知っ
てもらってい
たら安心かも



**共に悩み
考え 支える
仲間になる
!!**

子どもが笑顔になるためには・・・

周囲も笑顔でないと！



子どもの周りにいる大人の出番です！



親が肩の力を抜くと・・・ 親が楽になる
親が楽になると・・・ 子どもも楽になる♡

みんなが力を合
わせて



親
家族



子
ども



福祉
医療



園
学校



手を取り合って



東部ウイングサポートセンター



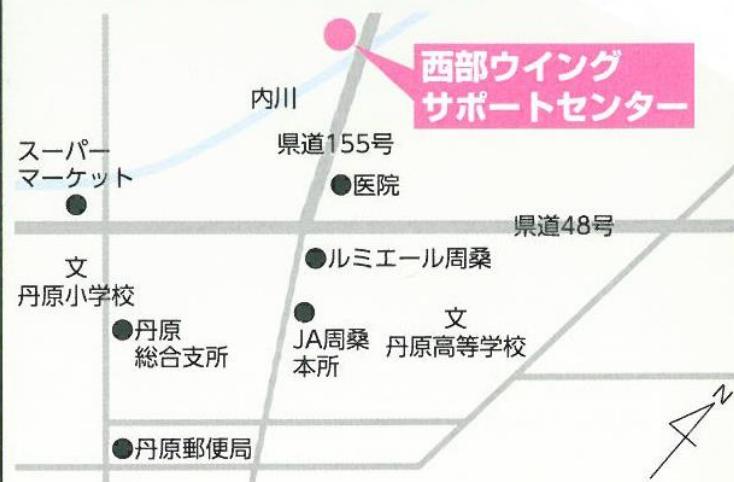
西部ウイングサポートセンター

【場所】東部ウイングサポートセンター



住所: 西条市大町 68-6
電話: 0897-56-8114 FAX: 0897-56-8186

【場所】西部ウイングサポートセンター



住所: 西条市丹原町池田 1561-3
電話: 0898-68-1520 FAX: 0898-68-1524

《活動内容》



1 相談支援

- 成長・発達に不安のある子や家族からの相談
- 巡回相談(要請、計画)
- 療育に関する相談 他

3 就労支援

- 作業所、就労移行支援事業所との連携
- ハローワーク、商工会議所、企業との連携 他

2 教育支援

- 保育園(所)、幼稚園、小・中学校、高校からの相談
- 教育機関への紹介
- 特別支援学校との連携 他

4 啓発・研修

- 成長・発達に関する正しい理解や効果的な支援方法についての啓発・研修
- 研修会や講演会の開催 他

【相談・検査】

- 開設時間(両センター共通)
〈相談には予約が必要です。〉
月曜日～金曜日(8:30～19:00)
土曜日・第4日曜日(8:30～17:15)
- 休館日
日曜日(第4日曜日を除く)、祝日、年末年始
- 内容

個別相談	当センターで個別の相談を行います。
巡回相談	希望の場所で相談を行います。要請相談と計画相談があります。
検 査	特性理解のための検査等を行います。
専 門 医 相 談	専門医により、発達や心理に関する相談を行います。1年間に数回行う予定です。



【講演会等の開催】

成長・発達に関する正しい知識を広めたり、深めたりするために、講演会や研修会を行います。

【センター内施設利用】

(東部ウイングサポートセンター)

○使用可能施設

1階 調理実習室

2階 大ホール、研修室1、研修室2

(西部ウイングサポートセンター)

○使用可能施設

ホール、会議室

(両センター共通)

○使用料 無料

○使用申請

あらかじめセンター使用許可申請書に必要な事項を記入して、受付に提出してください。

子どもの困り感に寄り添って・・・

子どもたちの可能性は無限
私たち応援団の可能性も無限

ともに伸びゆこう！

ご清聴ありがとうございました

